



for a living planet®

APP 社の泥炭地関連の発表に対する WWF のコメント

2015 年 8 月 15 日掲載

WWF インドネシアは、APP 社がリアウ州、ジャンビ州、そして南スマトラ州に位置する計 5 箇所における 7,000 ヘクタールのアカシア植林事業から撤退することを歓迎する。しかし APP 社のサプライヤーがスマトラとカリマンタンの泥炭地に約 140 万ヘクタールの伐採許可地を有していることを考慮すれば、その 0.5%となる今回の撤退は巨大企業にとって非常に小さな一歩にすぎないことが明らかである。

APP 社は、サプライヤーが管理する伐採許可地とその周辺を含める景観において、法的に義務付けられている保護地域とは別に、自然生態系 100 万ヘクタールを再生、保護することを誓約している。今回の 7,000 ヘクタールは、目標とする 100 万ヘクタールに向けた最初の具体例となり、WWF はこうした取り組みを APP 社が早急に拡大すること、現場における再生に成功することを望む。

また WWF は、APRIL 社が APP 社の例に続き、50 万ヘクタールの再生目標を達成するため、脆弱な泥炭土壌にある伐採許可地での操業から撤退することを期待する。

WWF は、APP 社がライダー (LIDER) 技術によって詳細なスマトラ島の泥炭地図を作成するという発表を歓迎し、直ちにこれが公開されることを期待する。保全措置が早急に取りられるべき地域がどこか、より良く理解するためにも、この地図は、島全体の今後の保全作業に不可欠な情報となるはずである。またこの調査がインドネシアの他の地域の泥炭土壌でも実施されることも期待する。

<原文> WWF Comments on APP Peat Announcement (15 August 2015)

http://wwf.panda.org/how_you_can_help/live_green/fsc/save_paper/paper_toolbox/app_april/news/?251753/WWF-Comments-on-APP-Peat-Announcement

関連情報

誓約は守られるか APP 社の「森林再生と保全支援」に多くの疑問

<http://www.wwf.or.jp/activities/2014/05/1204019.html>